

情熱政治！国・県・市の連携強化！

きど 熊本県議会議員 城戸あつし

▶一般質問・概要 (2~3面)
▶視察・研修報告 (4面)

発行者：熊本県議会議員 城戸あつし
発行月：令和元年11月(年1回)
事務所：玉名市中 1675-1 文仙館 1F
TEL 0968(82)8051 FAX 0968(82)8071

Topic ①

400名に感謝と決意

玉名に県の施設を誘致

県政報告会

初当選から四カ月が経つ八月二十五日、司ロイヤルホテルにおいて「県政報告会」を開催した。会場には、玉名市内外から約四〇〇人が集まった。本田暁文氏の後援会代表挨拶に始まり、蔵原隆浩市長が来賓挨拶を行った。また、勇退した森浩二元県議も登壇し、初当選を果たした城戸淳県議を激励。県政報告で城戸県議は、九月十二日に一般質問に立つことなどを報告した。



「新玉名駅そばに6万㎡の用地があり、スポーツ施設の誘致に最適」と駅前活性化に向け意気込みを語る城戸県議

まず、県政報告で建設委員会と地域対策特別委員会に配属されたことを報告。さらに、新玉名駅前の活性化に向けて、県営スポーツ施設の誘致に関する一般質問を行うことを説明し「まず、しっかりと玉名をテーブルに乗せたい」と参加者に訴えた。

Topic ②

9月議会で一般質問

「玉名いだてんマラソン支援を」



玉名いだてんマラソンの支援についてたずねる城戸県議

県議会は九月四日、九月議会を開会し、九日から代表質問と一般質問が行われた。九月十二日に一般質問に立った城戸淳県議は、県北地域におけるスポーツを通じた観光振興について質問を行い、玉名市で来年二月二十三日に開催される玉名いだてんマラソンに対する県の取り組みについてたずねた。また、県北地域における県営スポーツ施設の設置についても検討会議の進展状況や県北に整備される可能性を問うた。(詳しくは2~3面)

Topic ③

健康・生きがいきづくり講演会 人生100歳時代をどう生きるか



「100歳」どう生きる?!

健康・生きがいきづくり講演会 開催

「二〇〇歳大学」の提唱者として知られる元滋賀県知事の國松善次氏を講師に招き、健康・生きがいきづくり講演会を八月二十四日、玉名市の岱明町ふれあい健康センターで開催した。同氏は、高齢化が急速に進む日本の現状を説明。人生の下山を始めるときに、「老い」について体系的に学ぶ必要性を指摘した。「この玉名市で九州初の一〇〇歳大学を実現してほしい」と語った。参加した六〇代の男性は「ワクワクする目標に向かって努力したい」と述べた。



令和元年 九月定例会

城戸 淳・一般質問

九月十二日の一般質問に立ち、県北地域におけるスポーツを通じた観光振興、高齢者の健康・生きがいづくり、マイナンバーカードの普及、外来生物メリケンソウの駆除、農業分野における雇用労働力不足の解消の五項目について問うた。(以下は、発言の要旨)

① 県北地域におけるスポーツを通じた観光振興について

「東京オリンピック」まで一年を切った。スポーツは国や文化の違いを超えて世界中がひとつになれるとてもすばらしいものだ。

今年、HNKの大河ドラマで『マラソンの父』と呼ばれる金栗四三氏を描いた『いだてん〜東京オリムピック噺〜』が放送された。一過性のものとして終わらせないためにも、さらなる継続した取り組みが必要だと考える。

一方で玉名市は、今年から市民参加型のフルマラソン大会を開催することが決まった。名称は「玉名いだてんマラソン」。現在、コースの設定など準備を進めている。県として広報の面での支援やどのように観光振興につなげるのか。



第一回「玉名いだてんマラソン」のコース図(写真①)を図る。

A

(商工観光労働部長)



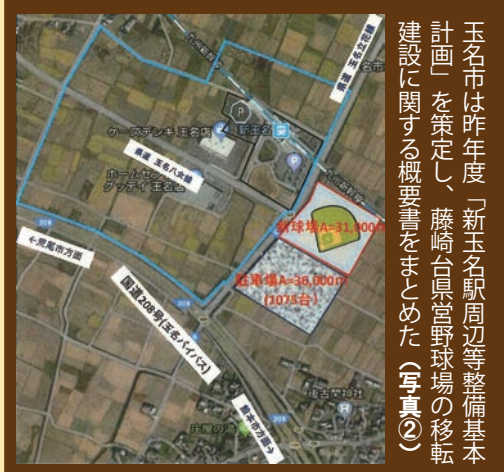
大河ドラマ「いだてん」の放送を契機に、県ではプロモーション展開や受入環境の整備のほか、周遊観光の促進に取り組んでいる。

来年二月のフルマラソン大会は、玉名市を金栗氏のふるさととして再認識させる機会であり、大会の盛り上がりに向けている。県においても、この大会を含め、県内開催のマラソン大会を紹介したマップの制作、PRイベント、WEB、SNSなどを通じた発信を行っていく。さらに、参加ランナーなどに熊本の温泉、グルメ、地域での体験などを発信し、マラソン大会を通じた観光振興を図る。

Q

県北地域における県営スポーツ施設の設置について。熊本武道館と藤崎台県営野球場に関して、現在、熊本県・熊本市のスポーツ施設のあり方検討会議において検討されていると伺っている。両施設のあり方について、会議ではどのような論議が行われているのか。今後、改修や建替などの方向性は出ているのか。県北地域に整備される可能性はあるのか。

玉名市は昨年度「新玉名駅周辺等整備基本計画」を策定し、藤崎台県営野球場の移転建設に関する概要書をまとめた(写真②)



A

(教育長)



これまで両施設の老朽化や駐車場の不足、立地上の制約など課題の整理を行っている。改修については継続して

用する場合の改修費用を算定している。建替に関しては、新施設建設の必要性の検討と建設費用や経済効果、防災拠点機能について論議している。移転の可能性は、まだ判断できない。

県営野球場の新設を候補地に玉名市提案

提言

アスリート出身の松野明美県議にぜひ、玉名いだてんマラソンに参加してほしい。そのほかの県議の先生方にもぜひ、参加をお願いしたい。私もランナーとして参加する。

第一回のマラソンコース図(写真①)はご覧の通り。今後、金栗四三氏とゆかりのあるコースに変更することも。県警察本部と協議を重ね、実現するように努力していく。

スポーツ施設の設置については、検討会議の結果をふまえて整備を進めてほしい。藤崎台県営野球場は、高校野球の聖地だ。私は、藤崎台県営野球場を熊本市に移管するというのも一つの方法だと考える。プロ野球や大規模大会を誘致することを考えると、現在の藤崎台県営野球場は課題もある。

新たに県営野球場を整備するという方向性がでた場合、候補地として玉名市を提案したい。玉名市は九州のへそに位置し、新幹線駅がある。玉名市によると新玉名駅のそばに六万㎡の用地(写真②)がある。県北地域に県営のスポーツ施設を整備するには最適な用地と考える。スポーツ施設の整備には、早い時期に利害の一致する民間企業や競技団体、市町村などと費用拠出や運営方法などを話し合うことが有益だ。



議事を傍聴する有権者ら

②人生一〇〇歳時代と高齢者の健康・生きがいづくりについて

Q 善次氏を迎えて、健康・生きがいづくり講演会を開催した。この

玉名市で元滋賀県知事の國松先生は、現在「一〇〇歳大学」の普及に取り組んでいる。この一〇〇歳大学は、人生の下り坂に入る六五歳、六六歳を対象に「老い」に対する基礎教育を行う。滋賀県の栗東市では、平成二八年に一〇〇歳大学を開講し、各専門家から介護予防や福祉制度、地域参加などの基礎科目と男性のための料理教室や女性のための体操教室など一人ひとりにふさわしい選択科目も履修する。本県では、高齢者の健康・生きがいづくりについて、どういった取り組みを進めているか。市町村が住民向けに生涯学習講座を実施しているが、その講座が充実するため市町村に対する県の支援はどうか。

A (教育長)



人生一〇〇歳時代を迎えるにあたり、人生の有り様や老いについて学ぶことは重要。「一〇〇歳大学」のような生涯学習講座を身近な市町村に設けることは、生きがいづくりにつながり、地域活性化にも資する。県教育委員会では、県生涯学習推進センターで得られたノウハウを活用し、市町村へ講座内容や講師の情報などを提供することで、市町村を支援してきた。今後、市町村のニーズに合った支援を行いながら、生涯学習の推進を図っていく。

④外来植物「メリケントキンソウ」の駆除について

Q もともといなかった場所に人によって持ち込まれた生き物のことを外来種といい、生態系に被害をもたらすものも多く存在する。南アフリカが原産地の外来植物「メリケントキンソウ」は、実に二ミリのほどのトゲがあり、肌に刺さると怪我をするため注意が必要。繁殖力が旺盛で、一度はびこると駆除が追いつかなくなる。南アフリカが原産地の外来植物「メリケントキンソウ」は、実に二ミリのほどのトゲがあり、肌に刺さると怪我をするため注意が必要。繁殖力が旺盛で、一度はびこると駆除が追いつかなくなる。南アフリカが原産地の外来植物「メリケントキンソウ」は、実に二ミリのほどのトゲがあり、肌に刺さると怪我をするため注意が必要。繁殖力が旺盛で、一度はびこると駆除が追いつかなくなる。



外来生物メリケントキンソウ (右上は実)

鹿児島県は、メリケントキンソウの生息が確認された市町村を明示し、志布志市では、環境省の専門家を迎えて撲滅対策会議を開き、撲滅対策マニュアルを公表している。

③マイナンバーカードの普及と行政サービスのあり方について

Q 日本は、マイナンバー制度を導入したが、普及率は、全国で一三%と低い。二〇二〇年以降はカードの有効期限が満了するが、更新しない人が出てくる懸念もある。今後、カードの使い方として消費活性化や健康保険証利用の整備が進められようとしている。役所の勤怠管理などに活用すれば業務効率化も可能になる。カード普及に県はどう取り組むのか。

A (総務部長)



同制度は、住民の利便性向上や行政事務の効率化などを目的に導入されたが、普及は進んでいない。カード普及のためには、コンビニ交付の拡大や行政手続の簡素化など、住民が利便性を実感できる取り組みが重要。県では、国や市町村と連携して市町村の取り組み拡大に向けた支援に努める。庁内で臨時申請窓口の設置するなどし、県職員のカード取得を促している。市町村の経費負担増に対する財政措置を国に要望する。

⑤農業分野の雇用労働力不足の解消と特定技能外国人制度の活用について

Q 今年四月から特定技能外国人制度が始まった。私は、農業分野においてこの制度を活用することが必要だと考える。雇用する農家の立場から言えば、外国人材を年間雇用するのは、ハードルが高いようだ。本県の取り組みは、

A (環境生活部長)



メリケントキンソウは、小中学校の運動場や公園、芝生広場、空き地などの明るい場所で生息が確認されており、県では、平成二九年に庁内関係課、県内市町村学校に対して文書による注意喚起を行い、駆除方法や時期についてホームページにより広く周知を図っている。今後、必要に応じて駆除の協力を行う。

⑤農業分野の雇用労働力不足の解消と特定技能外国人制度の活用について

Q 今年四月から特定技能外国人制度が始まった。私は、農業分野においてこの制度を活用することが必要だと考える。雇用する農家の立場から言えば、外国人材を年間雇用するのは、ハードルが高いようだ。本県の取り組みは、

A (農林水産部長)



特定技能外国人制度は、施設園芸が盛んな本県では、人材確保の有効な手段。外国人材の受け入れと支援の体制を整備するためJ-A熊本中央会による「登録支援機関」設立を働きかけ、八月に登録が実現した。本機関と連携して整備を進める。



一般質問に耳を傾ける蒲島知事(右端)と執行部ら(9月12日、県議会・本会議場)

八月二十四日、大分県で九州各県議会議員親善野球大会が開催され、議員野球団は九州の県議会議員と交流を深めた。

3

沖縄・大分 議連活動

九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会が八月二十六日、沖縄県のロワジュールホテルで開催され、意見交換を行った。議員団は、総会後に航空自衛隊那覇基地を研修視察し、基地の現状について説明を受けた。

基地を視察

<所属する議連>

- ▲日韓友好議員連盟
- ▲防衛議員連盟
- ▲有明海沿岸道路建設促進議員連盟
- ▲観光・物産振興議員連盟
- ▲文化懇話議員連盟
- ▲森林・林業活性化推進議員連盟
- ▲北朝鮮に拉致された日本人を救う熊本県議会議員の会
- ▲武道・スポーツ振興議員連盟
- ▲ゴルフ議員連盟
- ▲議員野球団

1

管内視察



建設常任委員会は九月二日、管内視察を実施。熊本市高森線四車線化および被災市街地復興事業（益城区画整理事業、益城町）、宅地耐震化推進事業（西原村）、依山トンネルルート（西原村）、立野ダム建設事業（南阿蘇村）、南阿蘇村災害公営住宅（南阿蘇村）、直轄砂防災害関連緊急事業および阿蘇大橋災害復旧事業（南阿蘇村）ならびに国道57号

北側復旧ルート（阿蘇市、大津町）を視察した。熊本市高森線四車線化および被災市街地復興事業（益城区画整理事業、益城町）について、益城町土木部所管課から説明を受けた。直轄砂防災害関連緊急事業（阿蘇大橋地区）と阿蘇大橋災害復旧事業については、国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所から工事の進捗状況などの説明を受け、意見交換を行い現地を見学した。

被災地など視察 復興へ事業着々と

建設委員会



西野たいすけ氏



鈴木 英敬 知事

PR

開催決定

鈴木知事招き 講演会

西野たいすけ事務所は来年二月十二日、三重県知事の鈴木英敬氏を招いて玉名市内で講演会を開催する。鈴木知事と西野氏は大学の先輩後輩の関係で、講演会後は「西野たいすけを励ます会」を実施する。西野氏は二〇一七年の衆院選に熊本二区から出馬した。

三重県知事を訪問 発達障がい児 支援

三重県

2

県庁訪問

八月二十八日、三重県を視察する玉名市議会議員「新生クラブ」と合流した。八月二十九日、三重県庁を訪問。現在三期目を務める鈴木英敬知事から三重県的主要な取り組みを伺った。同知事は、発達障がい児を支援する県の取り組みを説明。支援の必要な児童を就学前に見つける県独自のチェックリストを導入し、支援が必要な児童に対して個別の指導計画を作成し、成長過程に応じた支援の強化を図っているという。城戸県議は、玉名で来年二月二十三日に初開催される市民参加型フルマラソン大会「玉名いだてんマラソン」を紹介し、「一緒に玉名を走りましょう」と申し入れた。

熊本県議会議員

城戸あつし

profile



- 1962年2月24日生まれ。
- 玉名市立玉名町小学校卒業～同玉名中学校卒業～熊本県立荒尾高等学校卒業～九州産業大学中退。
- 1998年、(社)玉名青年会議所 理事長。
- 2001年、玉名市立玉名中学校 PTA 会長。玉名市 PTA 連絡協議会 会長。
- 2013年、玉名市議会議員選挙にて初当選。2017年、2期目当選。2018年9月に辞職。
- 2019年、熊本県議会議員選挙にて初当選～現在に至る。
- 熊本県議会では「建設常任委員会」ならびに「地域対策特別委員会」に配属される。